



いなほ

1月号

令和8年1月8日
日野市立豊田小学校
校長 東口 孝正

新視点を変えれば、世界が変わる — 互いの「色」を認め合い、共に創る一年へ
統括校長 東口 孝正

新年あけましておめでとうございます。冬休みが明け、静まり返っていた校舎に、再び子供たちの元気な挨拶と笑い声が戻ってきました。冷たい空気の中にも、新たな年を迎えた子供たちの表情はどこか晴れやかで、頼もしさを感じます。

さて、新しい年を迎える、「今年こそは自分のここを直したい」と反省したり、目標を立てたりすることも多い時期ではないでしょうか。私たちはつい、自分や他人の「足りない部分」や「至らない点」に目を向けてしまいがちです。しかし、今年は少しだけ「見るメガネ」を変えてみることを提案したいと思います。心理学に「リフレーミング」という言葉があります。ある物事の枠組み（フレーム）を外し、違う枠組みで見ることを指します。これは、私たちが「短所」だと思っている性格にも当てはまります。

例えば、授業中や家庭で「少しうるさいな」と感じてしまう場面があったとします。それを単に「騒がしい」と捉えると、直すべき短所に見えます。しかし、見方を変えれば、その子は「自分の思っていることを、恐れずに話すことができる」という素晴らしい力をもっていると言えます。これから社会では、自分の意見をはっきり伝える力は大きな武器になります。他にも、「飽きっぽい」は「好奇心旺盛で切り替えが早い」、「頑固」は「意志が強く流れられない」と言い換えることができます。短所と長所は表裏一体。見る角度によって、その性質は欠点にもなれば、かけがえのない才能にもなり得ます。互いの「違い」を「間違い」とせず、

「素敵な個性」として認め合うこと。それは、子供たちが安心して自分らしさを發揮できる土台となります。そして、多様な個性を持つ一人ひとりが輝いてこそ、学校はより豊かな学びの場となります。

本校が目指すのは、「みんなで創るみんなが楽しい学校」です。

主役である児童はもちろん、いつも温かく見守ってくださる保護者の皆様、日々の活動を支えてくださる地域の皆様、そして私たち教職員。学校に関わるすべての人が手を取り合い、それぞれの良さを生かし合うことで、この目標は実現へと近付きます。

新しい一年、互いの良さを見つけ合い、認め合いながら、みんなで笑顔あふれる学校を創り上げていきましょう。本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願ひいたします。

お知らせ

このたび、「日野市立学校の管理運営に関する規則」の一部が改正されたことから、令和8年度の夏休み期間、入学式の日程が以下のとおり変更となりますので、お知らせいたします。詳しくは、日野市のホームページをご確認ください。

夏季休業期間 令和8年7月21日（火）～8月31日（月）

入学式 令和8年4月8日（水） 午後1時45分開式

※新2～6年生の令和8年度1学期始業式は従来どおり4月6日（月）です。

